

## 手術患者の下着着用についての検討

### 手術部

○木下真弓 津田みゆき 福井幸枝 一柳由樹 西村美子

#### I はじめに

手術室は、常に清潔な環境を保つ必要がある。その為、当手術部では、患者は術衣のみで入室し、外部から雑菌を持ち込む危険のあると考えられる下着を着用していないのが現状である。それはバルンカテーテルや硬膜外チューブ挿入など処置の面からも必要であった。しかし私達は、下着を着用せずに入室することで、患者は羞恥心を抱き、手術に対する不安や不快感を増強させるのではないかと考えていた。また、術前訪問の際、患者から、下着を着けないことに対する疑問の声も度々聞かれた。

安藤ら<sup>1)</sup>は、手術患者を対象とし、患者の手術衣であるパンツ着用の容認についてのアンケート調査を行い、パンツ着用は、患者の羞恥心を除去するのに有効であり、患者サイドにたったよりよい看護につながるのではないかと述べている。同時にパンツの培養結果は陰性であったとも報告している。

そこで当手術部においても、患者の心理的負担の軽減に役立つよう、下着着用を試み、患者と看護婦にアンケート調査を行い、下着着用の有効性について検討したので報告する。

#### II 調査方法

1. 期間：1998年3月1日～4月30日

2. 対象及び方法：

(1)下着着用患者に対するアンケート調査(資料1)

①対象 開腹手術を除き、下着着用で病室に帰室することに支障のないと思われる、耳鼻科、第二外科、整形外科の患者50名

②方法 手術の前日、下着と下着着用についてのアンケート用紙を配布し、下着を着用して手術室に入室するように説明した。術後一週間以内にアンケート用紙を回収した。(使用した下着：日本メディコディスポーザブルパンツ以下、下着と略す。)

(2)手術室看護婦に対するアンケート調査(資料2)

①対象 手術担当看護婦

②方法 下着着用が術中の看護に及ぼす影響についてのアンケート用紙を配布し、術後回収した。

(3)病棟看護婦に対するアンケート調査(資料3)

①対象 術後患者担当看護婦

②方法 術後患者が、下着のまま帰室することが及ぼす影響についてのアンケート用紙を配布し、術後一週間以内に回収した。

### Ⅲ 結果・考察

下着を着用して入室した患者は、50名中49名だった(図1)。下着をはきたいと答えた人は、50名中40名で、患者の8割が下着の着用を希望していた。下着を着用することで、恥ずかしさが軽減したと答えた人が27名、気持ちが落ち着いたと答えた人が31名であり、この中でも、男性より女性の方が下着を着用することを強く望んでいることが分かった(図2)。下着をはきたくないと答えた人は男性2名で、「術中、下着をのけられるのなら最初からはかない方がいい。」という理由であった。どちらでもよいと答えた人の意見では、今回は勧められたからはいたのであって、はかないのが普通だと思っていた。あればはいてもよいという消極的意見であり、これは下着購入となった場合の患者の負担も推測できる。調査中の患者の声として、「人間は誰しもはきたいと思うのでは?」「絶対あったほうがいい。」「裸で手術を受けるのはとても抵抗があるので下着をはくのは良い。」「はいているだけで安心感がある。」「首の手術なのになぜ下着を着けたらいけないのか不思議。」という意見が聞かれた。神保ら<sup>2)</sup>は、手術室のイメージに関する調査の中で、患者が入室から退室までに不快を感じた点として、裸での入室をあげている。今回このような意見が聞かれたということは、下着着用が患者にとって安心感を与える大きな要因であったと思われる。以上のことから、下着の着用は、羞恥心を軽減させ、安心して手術を受けられる方法として、有効であることが分かった。また今回、患者負担を想定し、1枚1500円程度の下着を使用したためサイズがそろえられず、患者から小さいという意見が多かった。下着の価格としては前田ら<sup>3)</sup>の研究で、無料配布での着用状況は100人中99人であり、有料になったとたん着用率が減少したという報告があり、無料配布が望ましいが、有料となった場合、アンケート結果では金額は気にしないという回答が多いものの、次に回答の多かった200円が妥当ではないかと思われる(図3)。また価格に合わせ、サイズや素材についても改善が必要であると思われる。

手術室看護婦のアンケートでは、消毒薬、血液による汚染や、処置時の破損により、やむおえず下着を除いた患者は11名、術中も支障をきたさず、下着着用のまま病室に入室することができた患者が38名であった。導尿や腰硬麻時、下着をずらしたり、バルンカテーテルの固定の位置を考慮するなどの工夫を行えば、下着着用は、術中の看護に支障はないことが分かった。また、術中に体位変換する場合や、入退室時のストレッチャーへの移動する時などシーツがはだけることを心配せずにスムーズに行えた。患者によっては、術衣の乱れを気にする人もおり、下着着用は、心理的負担を軽減できたのではないかと思われる。なお、ディスプレイブルパンツにすることで、支障があった時は直ちに下着を取り除くことができた。逆に、術中の体位によっては下着が邪魔になったり、開腹手術では術野となるため下着を取り除かなければならないが、麻酔導入後に下着を取り除くので、下着着用での入室には問題ないと思われる。麻酔医や執刀医からも特に問題となる意見はなかった。

病棟看護婦のアンケートの結果、下着を着用して帰室した患者38名のうち、下着を着用して帰室してもいいと答えた看護婦は34名であった。下着着用での帰室に賛成の意見として、「動きやすい。」「はだけることを心配しなくていい。」「汚れたらすぐに捨てられる。」「生理前の患者には安心感につながった。」「保温効果がある。」等があがった。これは患

者の手術出し時においても、利点があることがうかがえる。また、帰室に支障をきたした意見としては、「バルンカテーテルが屈曲しやすい。」「ディスプレイなので切ってもいいが、切るのがもったいなくて切らずに排尿介助したが難しかった。」等があった。支障をきたした場合でも、下着着用で帰室することに賛成の看護婦もいたので、これについては今後、病棟側での問題になると考えられる。またT字帯に賛成という意見では、「術式によっては腰が動かせないのでT字帯の方がいい。」「床上排泄が難しい。」「結局T字帯を使うのでT字帯の方がいい。」があり、術後の経過にもかかわってくることもあり、考慮する必要がある。その他の意見では、「サイズが小さい。」「型や色の工夫があったらいいのではないか。」「通気性が悪そう。」というものがあつた。局所麻酔の場合では支障が無く全員が下着着用のまま帰室することに賛成であつた。

今回、日本メディコのディスプレイパンツを使用するにあたり、当院薬剤部の尾家先生に、下着の細菌検査を依頼した結果、手術に影響を及ぼす細菌は検出されなかつた。しかし、この下着自体は滅菌したものではないため、全身を滅菌シートで包んで入室する、人工股関節置換や、人工膝関節置換の手術の場合では、下着着用は適応外となる。羞恥心の面から考えると、麻酔導入までは、シートを取り除くことがないため、問題ないといえる。

以上のことより、サイズや価格の課題は残るが、全手術患者を対象に下着着用での入室を考えていきたい。

#### IV まとめ

- ①調査の結果、患者は下着を着用することを強く望んでいることが分かつた。
- ②患者が少しでも安心して手術が受けられる為に、下着着用は有効であると考えるが、術中術後の経過において、多少の考慮は必要となる。
- ③サイズや価格については検討を要するが、特別な例を除く全手術患者を対象に、下着着用での入室を考えていきたい。

#### V 引用・参考文献

- 1) 安藤秀樹他：患者の手術衣：パンツ着用の容認について，第20回日本看護学会集録（看護総合），1989
- 2) 神保浩子外：手術室のイメージに関する調査，第20回日本看護学会集録（成人看護Ⅰ）1989
- 3) 前田陽子他：手術患者のディスプレイパンツ着用の実施と問題点，手術医学，Vol. 15(1) 1994
- 4) 川畑久美他：手術患者のパンツ着用についての検討，OPENursing, Vol.7 No.1 1992
- 5) 金子美佐子他：手術直前患者の対応に関する一考察，OPENursing, Vol.7 No.7 1992
- 6) 佐々木典子他：術後訪問を試みて一患者の訴えへの対応，OPENursing, Vol.9 No.4 1994
- 7) 井上智子：病室から手術室への移送時のケア，臨床看護，20(13) 1994
- 8) 田中京子：手術室における患者の看護上の問題と看護計画，臨床看護，20(13) 1994
- 9) 佐藤禮子：術前患者の不安アセスメントと援助，OPENursing, Vol.9 No.5 1994

## 手術を受けられた方へ

手術後、どのようにお過ごしでいらっしゃいますか？

ご療養中とは存じますが、手術の前に配った下着についてお聞きしたいと思います。

下記の質問で当てはまる項目に全て○をつけてください。

今後の参考にしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

1. あなたは、下着をはきましたか？
2. 下着についての感想はどうでしたか？  
下着をはくと恥ずかしさが軽減した。  
下着をはくと気持ちが落ち着いた。(不安・緊張が和らいだ)  
下着をはくと暖かい感じがした。  
手術中に術衣をのけられるので下着はあったほうがいい。  
手術中に下着をのけられるのだったら最初からはかない方がいい。  
下着をはこうと思ったがサイズが合わなかったのではなかった。  
勧められたからはいたのであって、下着ははかないのが普通だと思っていた。  
手術のことが気になって下着のことまで考えられなかった。
3. あなたは手術に出るときに下着をはきたいと思いますか？  
思う      思わない      どちらでもいい
4. 下着にもしお金がかかるのだったら買いますか？  
200円だったら買う。  
300円だったら買う。  
400円だったら買う。  
金額は気にしないで買う。  
お金がかかるのだったら買わない。  
自分の新しい下着を使う。
5. 今回使用した下着はいかがでしたか？

サイズ	よい	わるい
ゴムのきつさ	よい	わるい
肌触り	よい	わるい
材質の厚さ	よい	わるい
6. その他お気付きの点がありましたらご記入下さい。

## 手術部スタッフの皆様へ

今回、私たち看護グループでは、患者入室時の下着着用について研究を進めることになりました。そこで、私達が選んで下着を着用してきていただいた患者さんにつかれた皆様に以下のアンケートにお答え頂きたいと思います。

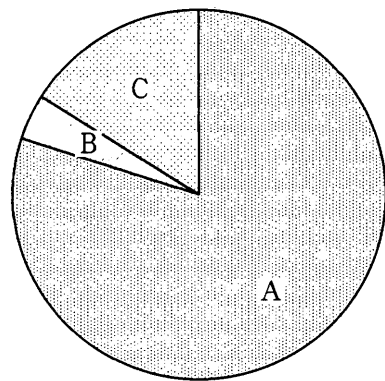
1. 患者さんの 名前 ( ) 年齢 ( ) 性別 ( )  
身長 ( ) 体重 ( )  
術式 ( ) 入室時間 ( )  
麻酔方法 (全・局・腰・硬・静・伝)
2. 以下の場面で、下着はどうでしたか?  
ア. 導尿する際 ( )  
イ. 腰・硬麻の際 ( )  
ウ. ソケイ部からのIVHの際 ( )  
エ. 体位をとる際 ( )
3. 入室後、下着を切るorぬがせましたか?  
はい ( )  
いいえ ( )  
その理由 ( )
4. 麻酔医もしくは、執刀医の反応はどうでしたか?  
( )
5. 下着のサイズはどうでしたか?  
ゴムの跡が、くっきりついていた ( )  
うっすらついていた ( )  
まったくついていない ( )
6. その他 ( )

## 病棟の看護婦さんへ

私たち手術部看護研究グループでは、患者さんの手術入室時における、下着の着用について研究しています。

お忙しい中、大変申し訳ありませんが、ディスプレイパンツを着用して入室された患者さんが、術後、それを着用したまま帰室されることでの、病棟サイドでの問題点や、ご意見がありましたら、アンケートにご記入ください。

1. ディスプレーパンツ着用で困ったことはありましたか?  
・特になし ( )  
・あった ( )  
理由・清拭時 ( )  
・バルンカテテルを挿入しているので、  
寝衣交換に困った。 ( )  
・その他 ( )
2. ディスプレーパンツを着用して、帰室してもいいと思いますか?  
・思う ( )  
理由 ( )  
・思わない (着用しない方がよい) ( )  
理由 ( )  
・パンツよりもT字帯の方がよい ( )  
理由 ( )



A—思う	40 (80.0%)
B—思わない	2 (4.0%)
C—どちらでもよい	8 (16.0%)
合計	50

図1 手術にできるとき下着をはきたいと思いますか？

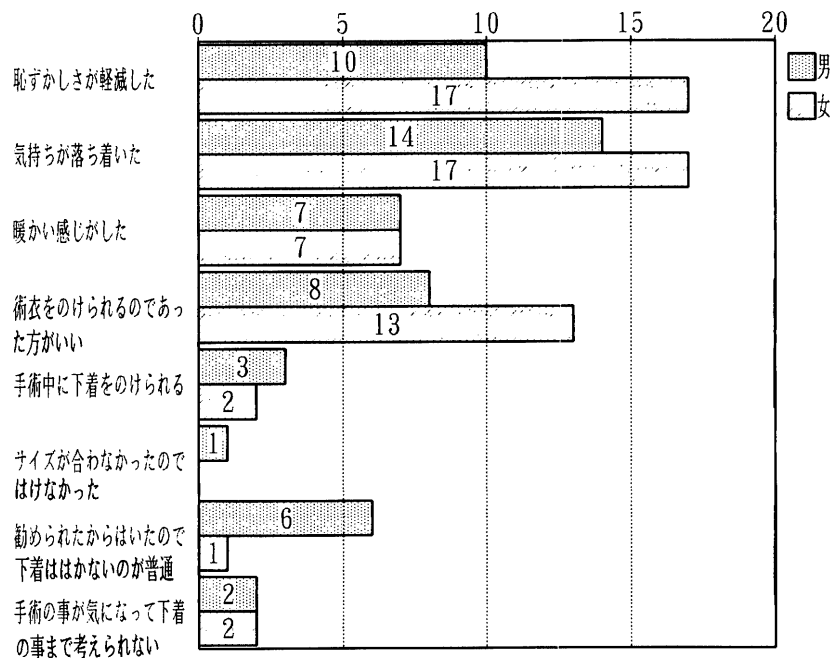
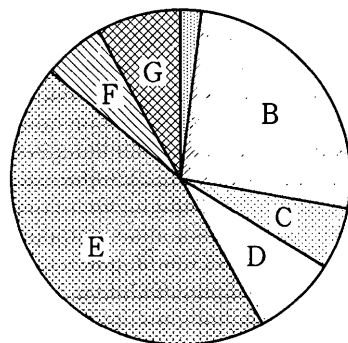


図2 下着についての感想 (複数回答)



A—100円	1 (2.0%)
B—200円	13 (26.0%)
C—300円	3 (6.0%)
D—400円	4 (8.0%)
E—金額は気にしない	22 (44.0%)
F—お金がかかるのなら買わない	3 (6.0%)
G—自分の新しい下着を買う	4 (8.0%)
合計	50人

図3 いくらだったら買いますか？